

■Tania Werner

金工作家の街、ハーナウで活躍するタニヤ・ヴェルナーさん。リングの輪に着ける人の好みをトッピングしたようなデザイン。いかにも手造り風な素朴さがかえって現代的な雰囲気をかもし、指へのフィットも良く、ナチュラルで存在感のある作品。



女性クリエイターの機能美

バイヤーたちから特に好まれたジュウリーは、テーマごとに一つのコンセプトにつながり、感覚とライフスタイルがトータルにコーディネートされているもの。"カラットクリエイティブ"では、女性デザイナーたちが自ら作品を装ってのコミュニケーションが販売の成功につながっていたようです。

遊びを許されるジュウリーの世界でも、単にフォルムだけで遊ぶのではなく、日常生活での人体の動きとジュウリーとの関係を体験しながら発想するアイデアが大切。そこから生まれるデザインには、本ものの機能美があり、ジュウリークリエーションの中では、大変重要なファクターです。アイデアがそのままデザインに生かされているのは、長年の伝統から学ぶテクニック、進歩するテクノロジーを自分の世界に上手くとり入れて消化させているからでしょう。

■Dorothee Striffler

マンハイムに工房を持つドロテー・シュトリフラーさん。ゴールドやシルバーのパーツを細いワイヤーでつなげる単純なデザイン。その動きに隠された技法を感じさせる魅力的なネックレスが定評。メッセでの新作発表を待っているバイヤーも多いようです。



■Gitta Pielcke

アウグスブルグから出展したギッタ・ピールケさん。自然が大好きで貴金属の表面テクスチャーに植物の模様をつけたリングが好評。今回は彼女が装っているような、生花や葉っぱを真空パックしたネックレスを発表。20数点制作して完売したそうです。



■Jacqueline Urbach

スイスのチューリッヒから参加したジャクリン・ウアパッハさん。スチールのワイヤーの交差点に通したゴールドやパールがスライドしながらストッパーの役割をして、長さを自由に変えられるネックレス"Xmix"。リングやブレスレットにも応用して人気集中。

